

教科	数学	科目（単位数）	数学Ⅱ(3)、数学Ⅲ(1)、数学A(1)、数学B(1)	学年	2	類型	理系
学習目標	<p>（数学Ⅱ）いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数および微分・積分の考え方について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。</p> <p>（数学Ⅲ）極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。また、複素数をもつ代数的な性質と、座標平面上の図形をもつ幾何的な性質の関連について考察できるようになる。</p> <p>（数学A）場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。</p> <p>（数学B）数列、ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。</p>						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	数学Ⅱ 第4章 指数関数・対数関数 第3章 三角関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指数法則や対数の性質を理解し、グラフが描けるようになる。また指数・対数を用いた計算ができるようになる。</li> <li>・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解する。</li> <li>・三角関数のグラフが描けるようになる。</li> </ul>				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～期 末考査	数学Ⅱ 第3章 三角関数 数学B 第2章 ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角関数の加法定理の応用・合成ができるようになる。</li> <li>・ベクトルが有向線分で表されることを理解し、内積を定義されることが理解できるようになる。また、図形の応用問題においてベクトルが利用できることを知る。</li> </ul>				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末 ～2学期 中間考査	数学B 第2章 ベクトル 第1章 数列	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間ベクトルも平面ベクトルと同様に扱えることを理解できるようになる。</li> <li>・様々な数列の規則性を見出し、一般項や和を求めることができるようになる。</li> <li>・漸化式や複雑な数列の一般項を求めることができるようになる。また和についても求めることができるようになる。</li> </ul>				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～期 末考査	数学Ⅱ 第5章 微分と積分 数学Ⅲ 第3章 関数と極限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微分係数と導関数の定義を知り、微分することの意味を理解することができる。また簡単な微分の計算をすることができるようになる。</li> <li>・微分と不定積分についての知識を理解し、簡単な不定積分の計算ができるようになる。</li> <li>・積分の計算を理解し、3次関数のグラフが描けるようになる。また、曲線などで囲まれた部分の面積が求められるようになる。</li> <li>・無理関数や分数関数のグラフの概形を理解することができる。</li> </ul>				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末 ～3学期 学年末考査	数学Ⅲ 第3章 関数と極限 数学A 第2章 整数の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数列の極限を求めることができるようになる。</li> <li>・関数の極限について考察し、いろいろなグラフの概形を理解することができる。また、極限の意味を理解し、様々な関数の極限が求められるようになる。</li> <li>・整数の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。</li> </ul>				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
3学期 学年末考査 ～年度末	数学Ⅲ 第4章 微分 第5章 微分の応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微分法の取り扱う範囲を広げるとともに、合成関数や逆関数の微分法を理解する。</li> </ul>				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「改訂版 高等学校 数学Ⅱ」数研出版、「改訂版 高等学校 数学B」数研出版、「改訂版 高等学校 数学A」数研出版、「改訂版 高等学校 数学Ⅲ」数研出版 副教材：「フォーカスZ」（啓林館）、「スタンダード」（数研出版）、「フォーカスGold」（啓林館）、「サクシード」（数研出版）						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。（教科書の練習問題等を自分で解き、授業で確認する。）						
評価方法	①考査 ②課題 ③授業態度（数学に興味関心を持って授業に取り組んでいるか）						